

プロフィール作成の準備

プロフィールの基礎

Twitterだけに限らず、ソーシャルネットワークサービス全般において、プロフィールはそのユーザーのパーソナリティを他人に明示するために重要な基礎情報となることは言うまでもありません。本書の目的を達成するためには「主張がない無難なパーソナリティをもった印象に残りにくいアカウント」を作る作業から始まります(図1)。



(図1) Twitterのプロフィールウインドウ

一般ユーザーのように「Twitterにとりあえず登録しておき、時間があるときにプロフィールを作ればいい」などと甘く考え、これから解説する準備が整っていない状態でTwitterに登録しても、プロフィールを何度も変更したり、アイコンにする画像選び、基本設定などで思わぬ時間がかかるため、最重要となる1日目での動きが鈍くなり、結果として稼げるはずのフォロワーを取り逃がすこととなります。

1日目から24時間以内で100ユーザーのフォロワー増産ができなければ、以降の9日間すべてに影響を及ぼす結果となります。

逆に言うと、1日目のフォロワー増産目標を達成すれば2日目以降の作業は楽になるといえます。

- ソーシャルネットワークサービス：インターネット上においてユーザー同士のつながりを促進するコミュニティ型のWebサイト。例えば、mixi、facebook、Google+などがそれにあたる。
- プロフィール：Twitterアカウントで表示される名前、ユーザー名、自己紹介などをまとめた総称。

この章では、その1日目に重点を置き、失敗しないためのTwitter登録前の準備に関する基礎知識とTwitter登録直後に最速で設定を行うための方法を解説します。

解説の前にTwitterの登録に必要な情報を予め作成して1ファイルにまとめておきます。このファイルは筆者が1アカウント作るたびにTwitterアカウントで必要となる基礎情報をまとめています。これは、そのアカウントのパーソナリティを作るためと管理のための設計図としています。

本書の「サポートサイト (<http://data-house.oc.to/books/tw/index.htm>)」に留意してある「アカウント管理帳」のファイルをPCにダウンロードしておくか、このような内容のファイルを作成しておいてください。このファイルは1ファイルをシートで「Twitter」と「Mail」で切り替えるようにしており「Microsoft Excel (.xls形式)」で開くことができます。もし、ソフトウェアがインストールされていない場合は「OpenOffice (<http://www.openoffice.org/>)」から無償版をダウンロードして手順に従ってソフトウェアをインストールして開いてください。

これから解説する内容に沿って各項目を決めて、この設計図に保存しておけばTwitterの登録作業を10分以内で完了させることができます。また、将来的に複数アカウントを管理する場合にも資料として管理がスムーズになります(図2、次ページ図3)。



(図2) アカウント管理帳 (Twitter)

こちらはTwitterアカウントの登録内容を記載します(図2)。

基本的に「ユーザー名」「パスワード」「名前」「登録メール」「場所」「自己紹介」などTwitterアカウントの登録で必要とする情報がまとめられていて、1日目の登録時に利用できれば問題はありません。ただし、複数のアカウントを管理する場合を考慮してアカウント情報が混乱しないよう、いつでも振り返れるように保存しておいてください。

- アイコン：Twitterアカウントでプロフィールに登録した画像。ツイートした際に、ユーザー名と同時に表示される。